

第4回 加茂市都市計画マスタープラン策定委員会
議事要旨

日時：令和6年1月25日（木）14：00～

場所：加茂市役所 5階 第1委員会室

出席者：以下のとおり（敬称略）

区分	氏名	所属・団体名
第1号 学識経験者	松川 寿也	長岡技術科学大学 准教授
	鈴木 孝男	新潟食科農業大学 教授
第2号 関係団体	海津 恵美	七谷さとやまふぁーむ
	佐藤 愛子	えちご中越農業協同組合 経営管理委員
	川崎 大一郎	株式会社 川崎薬品商会
	川上 和哉	有限会社 川上製作所 代表取締役社長
	藤田 和子 (欠席)	特定非営利活動法人 わくわくクラブ 理事長
第3号 その他	片岡 廣夫	公募委員
	笹川 裕子	公募委員
	森田 佑介	公募委員
	市川 恭嗣	加茂市 CSO
オブザーバー	上村 康司	新潟県三条地域振興局地域整備部 部長

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 都市の将来像について
 - (2) 都市整備の方針の骨子案について
 - (3) その他
- 4 事務連絡
- 5 閉会

- (1) 都市の将来像について
- (2) 都市整備の方針の骨子案について

～事務局資料説明～

【意見交換】

(委員)

- ・高校や大学、公共施設、各種スポーツ施設等がある程度まとまっているエリアについて、土地利用方針図に文教ゾーンとして位置付けてはどうか。
→(事務局)土地利用方針の文章に文教エリアに関する方針の追加を検討する。ゾーニングについては地域別構想の方針図に位置付けることを検討する。

(委員)

- ・土地利用方針図の「沿道サービス・業務ゾーン」の“業務”は何を意味するのか。
→(事務局)工場や事務所などの業務機能を持った施設を意味している。

(委員)

- ・土地利用方針図の農村集落ゾーンに西山地区が入っていない。
→(事務局)農村集落ゾーンに追加する。

(委員)

- ・加茂山公園や若宮公園近辺の住宅地ゾーンのエリアには、一部に土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)が指定されている。上位計画では、土地利用規制について触れている。方針の中に反映されていない。
→(事務局)現状、市民が住んでいるエリアであり、現段階で住宅地ゾーンから外すことは難しいと考えている。

(委員)

- ・土地利用方針図の住宅地ゾーンについて、住宅地を推奨するゾーンと推奨しないゾーンを区分して表現することはできないか。
→(事務局)そこに住んでいる市民のことを考慮すると、現段階で区分することは難しいと考えている。

(委員長)

- ・長岡市では、立地適正化計画を策定し、居住誘導区域を設定している。また、立地適正化計画では防災指針を定めている。

(委員)

- ・この土地利用方針図で市民は理解すると思う。これ以上市街地を拡大することはできない。防災対策は現在検討している分野であるため、そこで対策することで良い。

(委員)

- ・地域防災計画の内容について、しっかりと位置付けて欲しい。

(委員)

- ・水害対策としては、いかに早く排水するかが重要である。加茂川の排水機場などの様々な施設と連携しながら防災対策を進める必要があり、そのような視点も入れて欲しい。
→(事務局) 地域防災計画を確認し、どういった部分が載せられるか検討する。

(委員)

- ・将来都市構造図の自然レクリエーション交流拠点に冬鳥越スキーガーデンは入らないのか。
→(事務局) 地域別構想で拠点等に位置付けることを検討する。

(委員)

- ・将来都市構造図の河川軸について、よく分からない。都市緑化推進計画では水と緑のネットワークに置き換えている。
→(事務局) 水と緑のネットワークについては、公園・緑地の方針図に位置付ける。

(委員)

- ・都市づくりの目標3の説明文の「加茂市の地域資源を活かすことができる産業の誘致」のイメージを教えて欲しい。
→(事務局) 加茂川や加茂山などの自然、古い歴史のある神社や史跡などの地域資源を活用した産業を誘致することをイメージしている。

(委員)

- ・須田地区の工業地については、市の意思表示として新規拡大エリアを大きくする見せ方もあるのではないか。
→(事務局) 図の表現も含めて検討する。

(委員)

- ・都市づくりの目標3の説明文について、工業団地のイメージが持てなかったため、表現を変更する必要がある。
→(事務局) 表現を再検討する。

(委員)

- ・都市づくりの目標に加茂市に特化したキャッチコピーやキーワードが入れば良い。
→(事務局) 目標を再検討する。

(委員)

- ・都市づくりの目標3の説明文について、商店街エリアと工業団地の文章の段落を分けて整理してはどうか。
→(事務局) 表現を再検討する。

(委員)

- ・国道403号バイパスについて、20年後を見据えた時に現在の状態を保つのか。例えば宅地や工業地域を増やすことなどを考えるのか。
→(事務局) 現段階では企業進出の動きは無く、現在の農地として保全していく方針である。

(委員)

- ・国道403号バイパス近辺の農地については、地域の方は保全していく考えが多い。

(委員)

- ・20年後の方針について、企業誘致のためのプランなどプラス思考の計画があれば良い。

(3) その他

～事務局資料説明～

【意見交換】

(委員長)

- ・関連計画との整合については、事務局でチェックされているか。
→(事務局) 都市計画マスタープランの上位関連計画を整理し、整合を図っている。

(委員)

- ・新潟市の都市計画マスタープランでは、都市の将来イメージパースを作成しており、参考になる。

(委員)

- ・都市づくりの目標4に大学や教育施設との連携についても反映して欲しい。
→(事務局) 追加を検討する。

(委員)

・土地利用方針の農村集落ゾーンについて、住宅地と同様に「小規模な買い物施設や生活関連施設の立地誘導」の方針追加を検討して欲しい。

→ (事務局) 表現を検討する。

(委員)

・土地利用方針の農村集落ゾーンについて、集落拠点に公共施設等を集積していく方針があった方が良い。

→ (事務局) 表現を検討する。

以上